

令和5年広島市二十歳を祝うつどいの開催結果について（報告）

1 開催概要

(1) 日時

令和5年1月9日（月・祝）10:00～14:30

部	式典		同窓広場	対象
	開場	式典時間		
第1部	10:00	11:00～11:30	10:00～12:00	西区・安佐南区・佐伯区
第2部	12:30	13:30～14:00	12:30～14:30	中区・東区・南区・安佐北区・安芸区

(2) 場所

広島サンプラザホール（西区商工センター三丁目）ほか

(3) 主催

広島市、広島市教育委員会

(4) 企画

広島市教育委員会、令和5年広島市二十歳を祝うつどい実行委員会 6人

(5) 運営協力ボランティア

広島市立井口中学校生徒 60人

令和5年広島市二十歳を祝うつどい運営ボランティア（高校生） 15人

(6) 対象

平成14年（2002年）4月2日から平成15年（2003年）4月1日までに生まれた広島市民（広島市の住民基本台帳に記録されている人）

11,953人（男性6,099人（うち外国人144人）、女性5,854人（うち外国人176人））

(7) テーマ（実行委員会で決定）

「20 Plus Ultra！（読み：ニジュウプルスウルトラ）」

(8) 内容

① 式典

ア 国歌歌唱（独唱：エリザベト音楽大学学生1人）

イ 記念品贈呈（令和5年広島市二十歳を祝うつどい実行委員会がデザインしたオリジナルマグカップ）

ウ 市長式辞

エ 市議会議長祝辞

オ 二十歳の誓い

※ 式典開始30分前から、広島に縁がある著名人からのビデオメッセージの上映（11グループ、19人）、アトラクションの実施（広島文教大学和太鼓部「文教太鼓 仁」12人）、式典終了直後に恩師からのメッセージの上映（25校、36人）

※ 来場できない人のために式典の様子をオンラインにより配信した。

同時配信視聴者：約600人

録画配信視聴者：約4,000人（1月25日現在）

② 同窓広場

ホール西側公園に、市内全中学校ののぼりを設置し、参加者が出身中学校ごとに交流できるようにした。

③ サブホールイベント

ア おりづる企画（「平和文化」が根付くよう、参加者に平和への思いを込めながら折り鶴を折ってもらい、回収した。折り鶴は、後日、二十歳を祝うつどい実行委員が平和記念公園に献納する。）

イ フォトスポット

ウ 市政啓発コーナー（選挙啓発や飲酒運転根絶のPRなど13部署・団体がブースを設置した。）

④ 18歳新成人の関連企画

「二十歳の未来予想図～18歳からのメッセージ」を募集し、プログラムに掲載した。

(9) 参加者数

約7,800人（令和4年約8,100人）

2 令和5年二十歳を祝うつどいの振り返り

【参加者について】

- ・ 当日は、天候に恵まれたこともあり、例年並みの参加者数となった。
- ・ 全体的に落ち着いており、係員の指示等にも従って行動し、大きなトラブル等はなかった。

【プログラムについて】

- ・ 参加者へのアンケートでは、「広島文教大学和太鼓部による演奏」及び「式典」が、「良かったプログラム」となった。

【サブホールイベントについて】

- ・ おりづる企画については、おりづるコーナーを設置し、参加者に折り鶴作成の協力を呼びかけた。また、プログラムのおりづる企画のページに、表面「平和文化」、裏面「鶴の折り方」のリーフレットと折り紙を挿み込んだ。
- ・ 式典開始前に会場内スクリーンでおりづる企画について案内するとともに、式典終了直後に実行委員が協力を呼びかけたことなどにより、折り鶴約1,000羽を回収することができた。
- ・ 金屏風や花をモチーフにした壁紙などを設置したフォトスポットコーナーでは、参加者が順番に記念写真を行う様子が見られた。
- ・ 市政啓発コーナーの掲示物や模擬投票などに興味を示す参加者が見られ、市政をPRする機会となった。

【実行委員・ボランティアについて】

- ・ 実行委員は、9月から会議を重ね、創意工夫をこらしながら、プログラムの企画・作成、記念品のデザイン、ビデオメッセージの調整などに積極的に参画した。また、参加者の代表として二十歳の誓いなどを行った。
- ・ 運営ボランティアが、前日にフォトスポット設営やサブホール飾付けなどの準備を行った。当日は式典会場内での誘導や車いす参加者のサポートなどを行った。
- ・ 井口中学校の生徒が、前日にプログラムの袋詰めなどの準備を行った。当日は案内はがき受付、記念品配布、おりづる回収などの活動を行った。

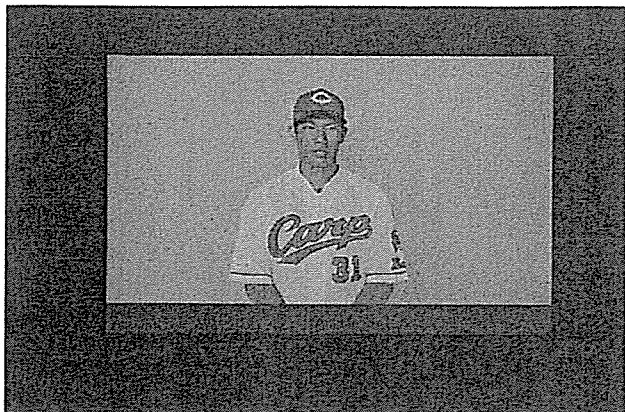
【その他】

- ・ 参加者にマスクの着用や手指消毒を呼びかけるとともに、検温の実施や室内の換気等の基本的な感染防止対策を講じた。また、第1部の終了時には、椅子等の消毒を行った。
- ・ 誘導を担当する係員の増員や、分かり易い案内表示とするための表示内容の工夫や表示箇所の増設などを行ったことにより、誘導等がスムーズに行えた。
- ・ 参加者が密になることを避けるために2部制としたことから、会場の周辺道路等の交通渋滞が例年より減少するとともに、外周道路での乗降、歩行者等の混雑を回避できた。
- ・ 広島西警察署からは、トラブルや苦情の通報がなく、例年以上に穏やかな二十歳を祝うつどいだったとの連絡があった。引き続き安全確保の観点から警察署と連携を図る。

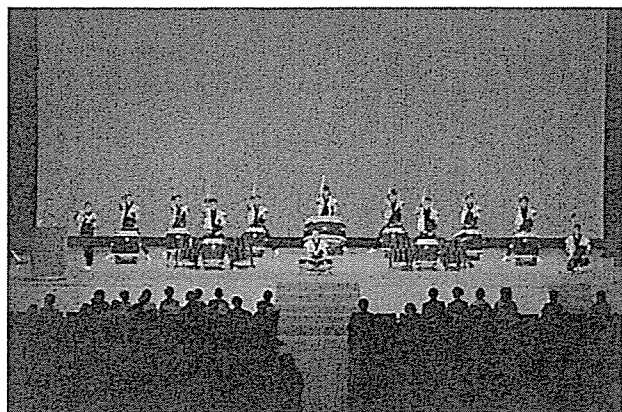
参考：アンケート等の自由記述（主なもの）

- コロナ禍で様々な制約はあるが、二十歳を祝うつどいが開催されてありがたい。
- 大人になった実感が湧く。二十歳の節目を感じた。
- 直前まで参加するかどうか悩んだが、障害がある参加者に対しての色々な配慮があり、無事に落ち着いて参加できた。参加してよかった。感謝している。
- 成年年齢が18歳に引下げられたが、大学受験などがあるため、20歳を対象とすることは賛成である。
- 県外に進学した参加者にとっては、翌日から授業があるので、慌ただしく帰ることとなり残念だった。
- 成人の日を含む3連休の日曜日に開催すると、帰省して参加する人が増えると思う。

【式典会場】



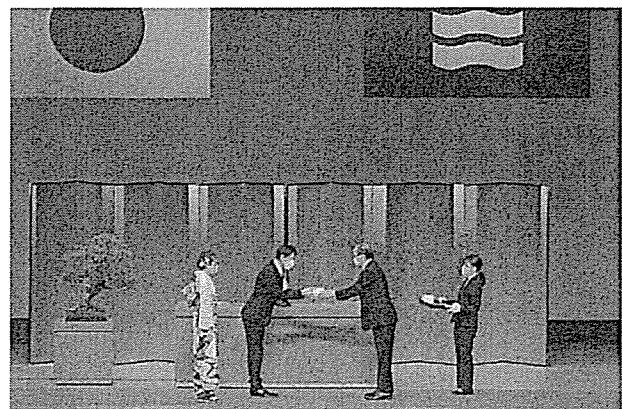
著名人からのビデオメッセージ



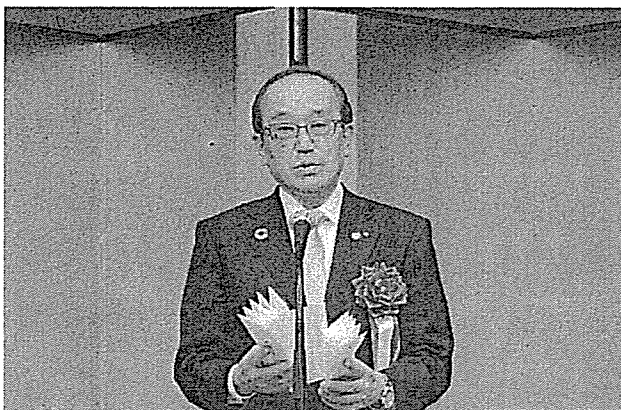
アトラクション



国歌歌唱



記念品贈呈



市長式辞



市議会議長祝辞

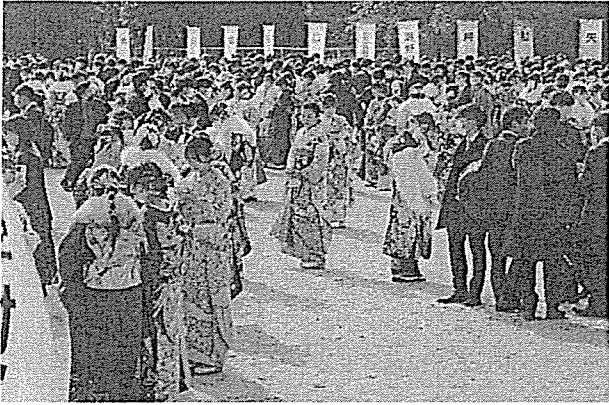


二十歳の誓い



恩師からのメッセージ

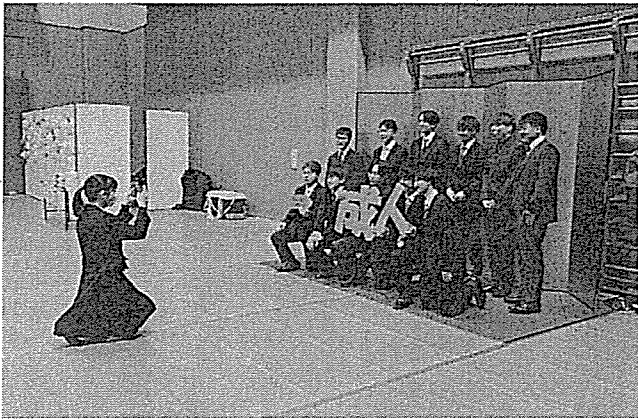
【その他の会場】



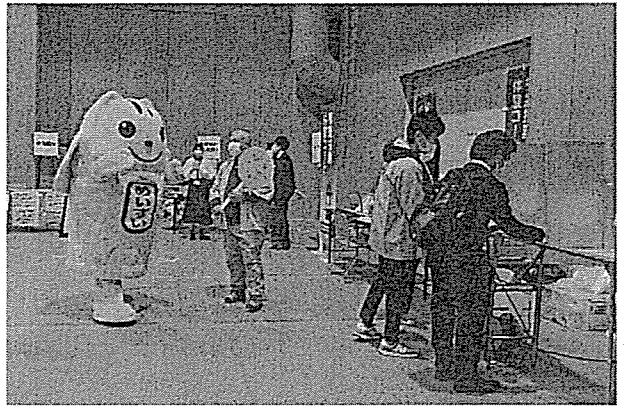
同窓広場



記念品配布コーナー



フोटスポット



市政啓発コーナー



おりづるコーナー

【実行委員】

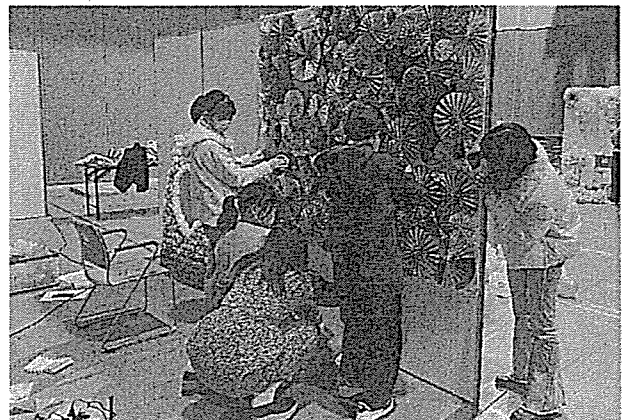


令和5年広島市二十歳を祝うつどい実行委員

【ボランティア】



プログラム等袋詰め (井口中)



フोटスポット設営 (運営ボランティア)